

## 災害廃棄物対策図上訓練の概要

### 1 基本的な考え方

#### (1)災害廃棄物処理に関する情報共有と基礎的事項の確認・習熟を目的とする

今回の図上訓練は、参加者の広域的に災害廃棄物処理を行う場合の連携体制構築に向けた手順等の確認と基礎的事項の習熟に主眼を置くこととし、協議会構成員以外の自治体からも広く参加者を募って実施する。

参加者が所属する自治体においては、災害廃棄物処理計画に関する検討や取組の進捗に差があると思われるが、参加者が今後の計画策定や各自自治体で実施する研修・訓練の参考となるものとする。

#### (2)連携体制の構築に向けた手順を開示した訓練とする

広域的に災害廃棄物処理を行う場合の連携体制構築に向けて必要な様式等を用意し、災害に伴う被害情報や被災地のニーズと支援体制の情報等を示し、参加者が理解し易いことを念頭に置いた手順書を作成する。訓練は、手順書を見ながら順に災害廃棄物処理体制構築等をシミュレーションする。訓練の進行については、随時、手順書に沿って事務局が質問を投げかけ、訓練参加者同士で回答を検討しながら、手順内容の確認、必要な情報等を学習していく訓練とする。

### 2 今回の訓練の概要

#### (1)大まかな図上訓練の種類

図上訓練を大まかに分類すると、シナリオ提示型と状況付与型の2つのタイプがある。

シナリオ提示型	状況付与型
災害対応活動などの詳細なやり取りをシナリオ等（シナリオ、災害対応手順など）に記載し、その内容を参加者が確認しながら実施する訓練  <b>【メリット・デメリット】</b> ○対応の全体を検証可能 ○対応・手順の流れを確認（訓練を通じて間違いや不足に気づくこともある） ×突発事項等危機対応能力の向上には直結しない	参加者にはシナリオを開示せずに、場面ごとに状況を付与し、参加者が対応を検討する訓練（計画書やマニュアル等がある場合は、参照する）  <b>【メリット・デメリット】</b> ○注力したい部分や検証したい状況の特出して検証 ○参加者の危機対応能力の向上や危機意識喚起に役立つ ×手順の流れを細やかに確認できない

シナリオ提示型訓練は、災害対応の手順等を作成した後に行い、作成した手順を参加者が理解するとともに、内容が正しいか、抜け落ちがないかを確認することが主目的である。この手順がある程度確認できた後、更に、参加者の危機対応能力を高めるため、状況付与型訓練を実施していくことが望ましい。どちらの訓練が良いかということではなく、段階的に訓練の内容を変えていくことが一般的である。

なお、シナリオ提示型訓練は、「平成27年度 大規模災害時における中国四国ブロックでの広域的な災害廃棄物対策に関する調査検討業務」の中でも実施された。状況付与型訓練は、兵庫県で実施された。

## (2)今回の図上訓練

---

### ア 目的および前提条件

- 広域的に災害廃棄物処理を行う場合の連携体制の構築に向けた手順の確認、共有
- 近畿ブロック内自治体（協議会構成員以外の自治体も含む）の廃棄物担当者等が参加
- 1回あたり50名程度の図上訓練を2回開催（2回の訓練の内容は同一）

### イ 訓練の形式

今回はシナリオ提示型訓練とし、基本的な事項を確認するものとする。

### ウ 訓練の進め方のイメージ

#### (7)概要

広域連携手順を全体で読み合わせながら、適宜、質疑応答を組み込んだ訓練とする。

訓練時間は3時間程度とする（午後の時間帯を想定）。

#### (4)班分け（検討中）

班分けは下表のとおりとし、1班当たり5名程度とする。なお、被災側・応援側の立場の両方について検討するため、被災側と応援側には班を分けない。

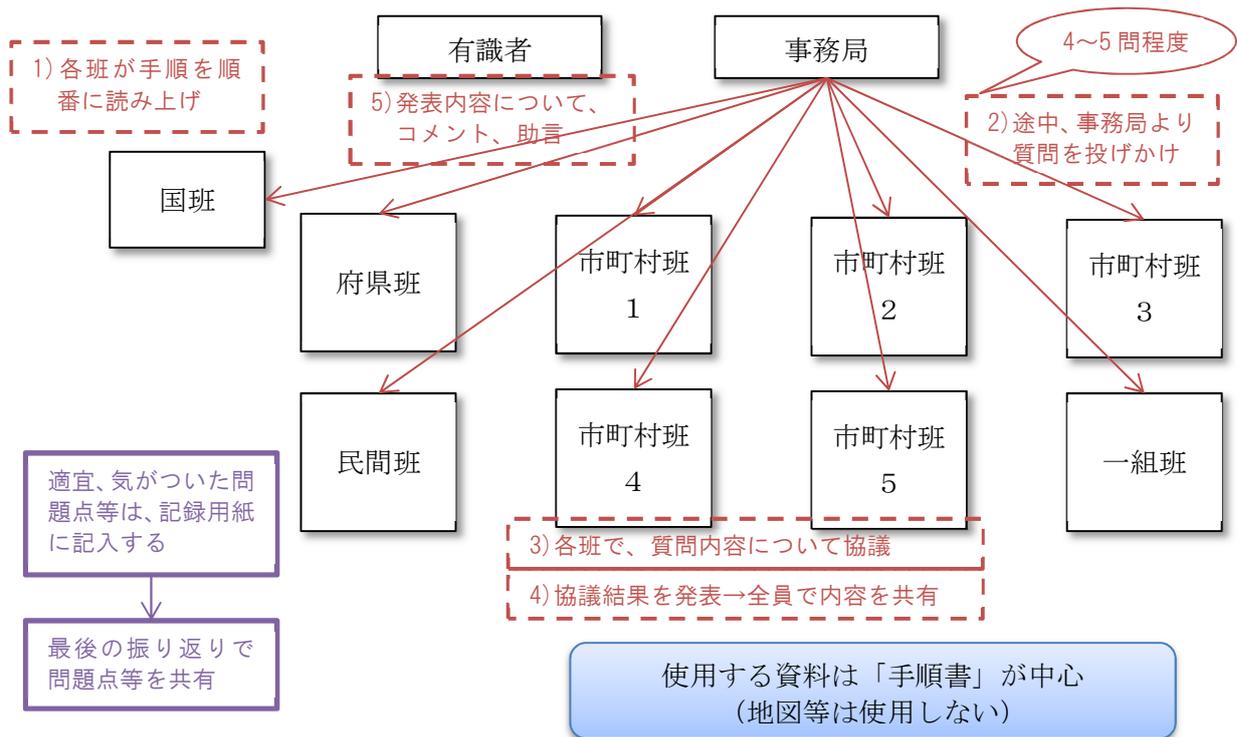
府県班	広域連携の際の府県（被災側、応援側の両方）の立場として検討。必要に応じて、関西広域連合の立場も兼ねる。1～2班程度を組成する。
市町村班	広域連携の際の市町村の立場（被災側、応援側の両方）として検討。協議会メンバーと協議会外メンバーの混成とする。5班程度を組成する。
一組班	一部事務組合の立場として検討。1班組成。
民間班	産廃協会等の立場として検討。1班組成。
国班	地方整備局及び地方環境事務所の立場として検討。1班組成。

(ウ)進め方のイメージ（検討中）

広域連携手順を時系列で整理し、手順の初めから順番に自分の役割（班）のところに来たら、手順や対応策を読み上げていく。読み上げを通じて、本人のみならず周辺の参加者も、その手順項目や対応策、取組について共有するとともに、読み上げ時に判明した問題点や欠けている手順等を整理していく。

読み合わせの途中で、事務局側から質問を投げかけ、班に分かれた参加者は当該手順の具体的な内容について検討し、検討結果を発表することとする。発表後に、事務局や有識者から解説やコメントを行う。

全体の流れは、次のとおりとなる。



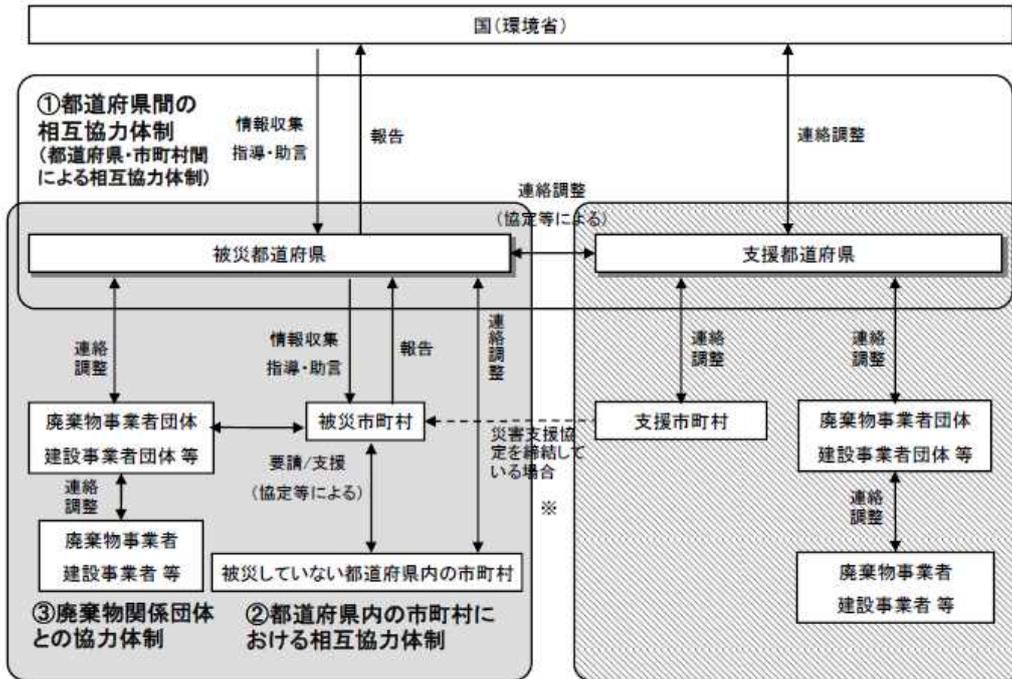
エ タイムスケジュール（予定）

時間	13:00~13:30	13:30~15:30	15:30~16:00
内容	事前説明	図上訓練	振り返り、講評

**(参考)**

災害発生時における広域連携の基本的な考え方の例は、下図に示すように「災害廃棄物対策指針（環境省）」や「関西防災・減災プラン（関西広域連合広域防災局）」に示されている。本図上訓練は、災害廃棄物に関する広域的な連携を念頭に置いたものであり、これらで示されている内容と整合させながら実施検討をするものとする。

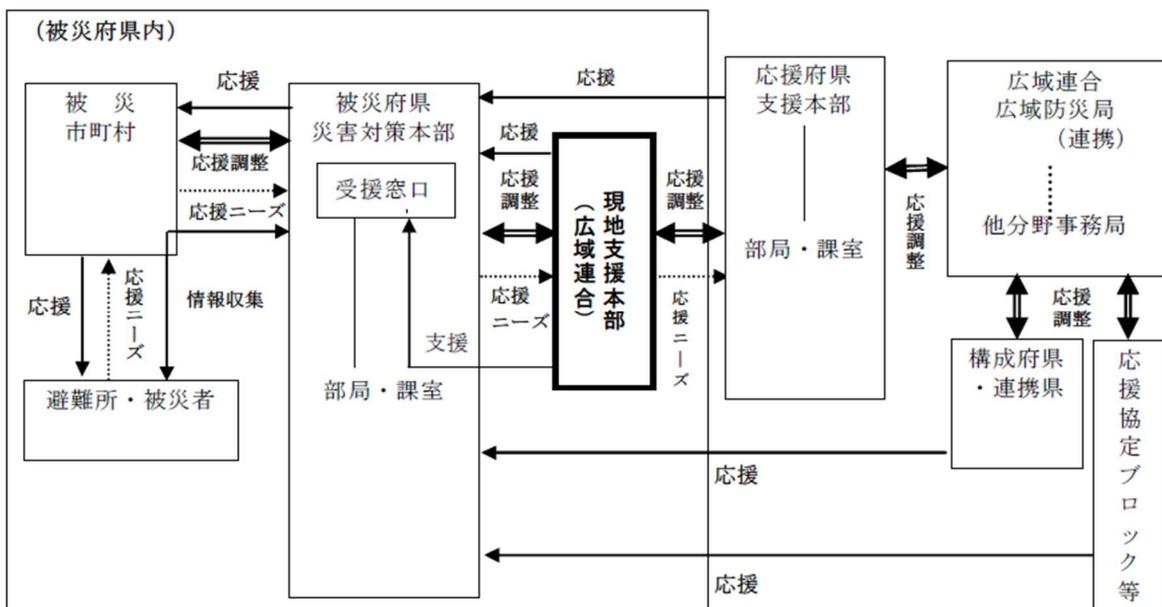
災害廃棄物処理に係る広域的な相互協力体制図（参考）



※政令指定都市間や、姉妹都市関係にある市町村間では直接協力・支援が行われる場合がある。

(資料) 災害廃棄物対策指針（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）

広域連合、応援府県、被災府県の関係図（参考）



(資料) 関西防災・減災プラン（関西広域連合広域防災局）